

型板ガラス

JIS R 3203 型板ガラス

型板ガラスは、片面にさまざまな型模様をデザインしたガラスです。光を拡散するとともに視野をさえぎる機能を持っています。

特長

装飾性

ガラス面にデザインされた型模様は、インテリアとしての装飾性を備えています。

光を拡散

型模様によって光が拡散するため、ソフトな明るさをもたらします。しかし、日射エネルギー透過率・可視光透過率は、表面が平滑なガラスとほとんど変わりありません。

プライバシーの確保

視野を適度にさえぎり、プライバシーを守ります。

主な用途

住宅や一般建築物の窓。

間仕切りなどの室内建具。

家具。

装飾性と視線の遮断が必要な場所。

型板ガラスの標準施工法

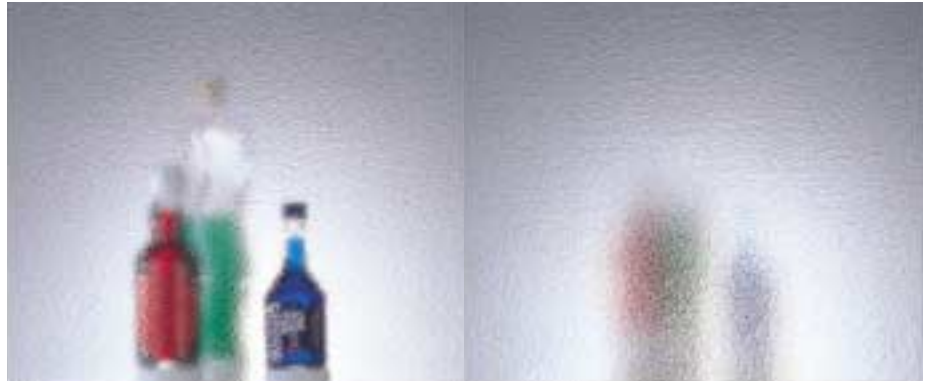
P71の「フロート板ガラスの標準施工法」に準じて施工してください。

浴室との仕切りに使用の場合は、型模様面を脱衣室側に向けてご使用ください。

各種クリアランス・かかりしろは、JASS-17（日本建築学会 建築工事標準仕様書、17番、ガラス工事）の数値を採用してください。

参照 P146 「板ガラスの納まり寸法標準」

型板ガラスの柄と対象物との透視像（測定条件 左：0cm 右：50cm）
はつしも（呼び厚さ4ミリ）



梨地（呼び厚さ2ミリ）



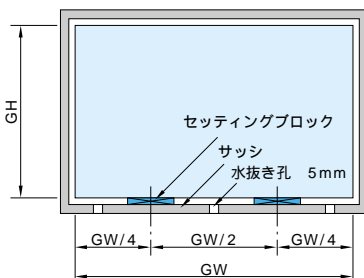
品種・仕様

品 種		呼び厚さ	最大寸法 (mm)
薄 型	梨 地	2ミリ	1,219×610、914×813
		4ミリ	1,829×1,219
厚 型	はつしも	6ミリ	2,438×1,829

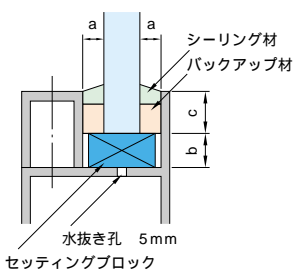
網入、線入型板ガラスについては、網入、線入板ガラス（P68）をご参照ください。予告なく品種・寸法などを改廃する場合があります。

型板ガラス
型板ガラス

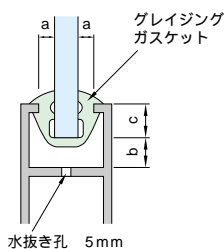
施工図



シーリング材による
カーテンウォール工法の場合



グレイジングガスケット
使用の一般サッシの場合



(注) 記号説明

GH：ガラスの高さ GW：ガラスの幅 a：面クリアランス b：エッジクリアランス c：かかりしろ



熱割れのご注意

ガラス共通の注意事項が記載されています巻頭の「ガラスを安全にご使用いただくために」の「熱割れに関するご注意」をご参照ください。



設計・施工上のご注意

型模様面には汚れが付着しやすいので、型模様面を室内側に向けてご使用ください
型板ガラスは、フロート板ガラスに比べ同じ呼び厚さでも強度が低下します。
品種によっては、型模様面に水分が付着すると透けて見えることもあります。
その他、ガラス共通の注意事項が記載されています巻頭の「ガラスを安全にご使用いただくために」をご参照ください。